

合成樹脂基盤ベストマンパレット



<http://www.especmic.co.jp>

合成樹脂基盤ベストマンパレット



1, 5, 7. 護床ブロックへの植生の導入

都市河川は河積を確保するために護岸が切り立っており、植物が定着できる場所が限られています。しかし、自然への配慮から植生の導入が検討されてきました。

2. 高い耐流速性

都市河川では降雨時に急速に水位が上昇するため、高い耐流速性が求められます。合成樹脂基盤ベストマンパレットに使用されている基盤は高い耐流速性を持っています。

3. 優れた施工性

合成樹脂基盤ベストマンパレットには様々な優れた特徴がありますが、中でも、土壌を使用していないため軽量で施工性に優れています。

4. 都市河川の自然再生

護床ブロックに植生を導入した結果、様々な生き物の定着が認められるようになりました。植生を創出することで、無機質な都市河川を生物の生息空間にすることができます。

6. 東京都 呑川

直線河道でも擁壁脇に水生植物群落を創出することで、複雑な環境を創出することができます。合成樹脂基盤ベストマンパレットは植栽枠からの土壌の流出を抑制するため、出水頻度の高い環境においても安定した植物群落を維持することができます。

【これまで困難であった場所の緑化ができるようになりました】

高い耐流速性と分解しない安定した基盤をもつ合成樹脂基盤ベストマンパレットを用いることで、三面張りの水路や都市河川など、これまで緑化が困難であった環境に水生植物群落を創出することができるようになりました。

【安定した植生基盤としての合成樹脂】

水生植物の植栽にあたってはヤシ繊維基盤が多く使われてきました。しかし、ヤシ繊維基盤は時間の経過とともに分解されるため、基盤の分解とともに成立していた植物が流出する場合があります。合成樹脂基盤は分解されないため、長期間にわたり植物群落を安定的に維持できるようになりました。



【様々な固定が可能です】

ヤシ繊維を基盤としたベストマンパレットでは、植物が定着するまでの一時的な固定のために、くさび形止杭が使用されていました。しかし、合成樹脂基盤ベストマンパレットは基盤が分解されませんので、従来の杭による固定の他、ケーブルバインダーなどで基盤を強固に固定することができます。



【ポーラスブロックとの組み合わせも可能です】

ポーラスブロックへの植物の導入はかなり困難ですが、様々な方法で固定することができる合成樹脂基盤ベストマンパレットを用いることで、ポーラスブロックにも植物を定着させることができます。植物の根はポーラスブロックの隙間を伸びることができます。



【土壌を使用していないため軽量で施工性に優れます】

合成樹脂基盤ベストマンパレットには土壌が使用されていません。そのため、水切れが良く、軽く施工性に優れます（おおよそ 15～20kg/㎡）。その一方で、保水性が乏しいため乾燥しないように取り扱いに注意が必要です。

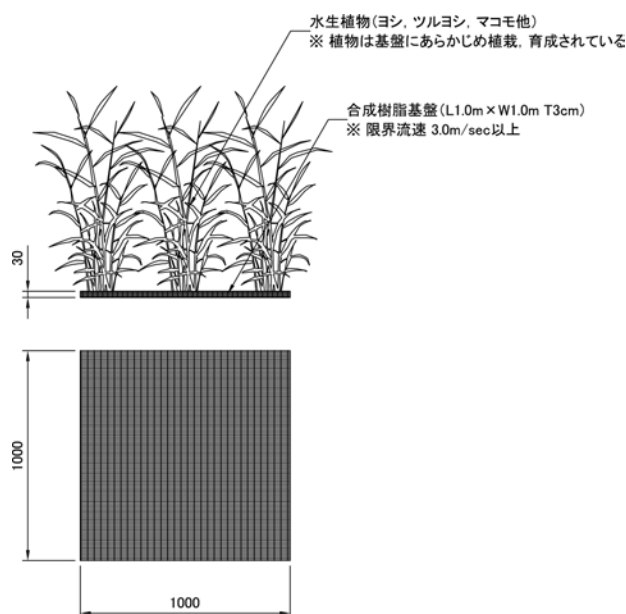
【あらかじめ植物が植栽されています】

合成樹脂基盤ベストマンパレットにはあらかじめ植物が植栽、育成されており、設置時には植物と基盤とが一体となっています。そのため、厳しい環境条件においても効果的に植物を定着させることができます。



【仕様】

型式	BPS-1000
寸法	幅1.0m×長1.0m×厚3cm ※ サイズは用途に応じて対応できます
重量(参考)	植栽されている植物の種類と生育状況により異なりますが、水を切った状態でおおよそ15～20kgです。
基盤の主素材	ポリエステル



エスペックミック株式会社

<http://www.especmic.co.jp>

本社 480-0138 愛知県丹羽郡大口町大御堂 1-233-1
名古屋オフィス TEL:0587-95-6369 FAX:0587-95-4833

東京オフィス 103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-13-7
TEL:03-5643-0305 FAX:03-5643-0307

大阪オフィス 572-0039 大阪府寝屋川市池田 3-11-17
TEL:072-801-7805 FAX:072-801-7806

福岡出張所 812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田 1-28-16
コスモブレインビルE室
TEL:092-471-0932 FAX:092-474-3500

- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- このカタログの記載内容は2013年7月現在のものです。